

# 小雪

(11月22日～12月6日) : 北国で雪がちらつき始める頃。風の冷たさから冬の到来を感じるようになります。

11月28日  
(土)  
第11回  
学習  
発表会

## 高等部1年

『トイストーリー  
in なわて  
～3つの宝～』

おもちゃなどに扮した生徒が、舞台上で様々なパフォーマンスを披露しました。自分の特技を生かしたもので、今年度の授業で取り組んだものなどバリエーションも豊かでした。懐かしいキャラクターもいて、大人も童心に帰れるひと時でした。フィナーレの全生徒による合奏合唱は、前録りの歌声と各種楽器の生演奏、手話歌が一体となって迫力満点でした。



## 中学部2年

『わたしの  
しあわせ』

役を演じるのではなく、普段の自分を表現するのはとても緊張することですが、一人ひとりが観客を前に、それぞれの良さを十分出せていました。『ミッキーマウスマーチ』は、練習の成果が見える演奏でした。「楽しい」「幸せだ」と感じることを発表し合い、『前を向いて歩こう』に合わせてのダンスする姿から、前向きに行こう！という明るいメッセージを感じました。



## 高等部2年

『ジブリの森の  
たんけん』

生徒それぞれが、キャラクターの特徴をとらえた演技をしていて、ジブリの世界観を見事に舞台上に表現できていました。キャラクターとして登場しない場面でも、ナレーションや背景効果として出演するなど複数の活躍の場があり、広い舞台を存分に生かした演出でした。最後の合唱は、手話歌を取り入れるなどの今年度ならではの工夫が見られました。



## 中学部1年

『Band !  
～キラメキの  
MusicWorld～』

生徒が普段の授業で制作に取り組んだ作品たちが舞台を彩っていく演出がよかったです。それぞれがかっこいい衣装で、ギターや管楽器等を模した小道具を手に小気味よくリズムを刻む演技がバッチリ決まっています、ノリノリの雰囲気でした。スネアドラムやコンガといった打楽器は実際に演奏されていてエア演奏の動きにピッタリ合っていました。



## 中学部3年

『世界をすくう  
それは愛』

新型コロナウイルス感染症を題材として取り入れつつも、劇自体は重い雰囲気にならず、生徒一人ひとりがしっかりセリフや演技を自分のものにしていて、ぐいぐいとストーリーに引き込まれていきました。みんなの演技の自然さ、上手さもさることながら、器楽演奏や合唱についても、日頃の授業での充実した取組みをうかがわせる内容でした。



## 高等部3年

『シン・火の鳥』

火の鳥の壮大な世界観を今年度の広い舞台上に見事に表現することができていました。「こつこつ努力する」「自分で道を切り拓く」「人と人とが温かい心で支え合う」ことの大切さを3つの場面で表現していて、あと数か月後に社会に向けて、(それぞれがキラキラの火の鳥として)羽ばたいていく高等部3年生のみんなの決意表明のような演目でした。  
これからの人生、嵐の日もある。大きな猪に立ち向かうような勇気が必要なこともある。でも、どんな日でも白飯食べて笑いあっていよう！・・・本当に素敵な3年間を締めくくる最後の演技でした。

